

授業科目 (ナンバリング)	病院薬学 (NF330) (実践的教育科目)			担当教員	室 高広・神田 紘介・末廣 真理恵 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
<p>本学薬学部薬学科のディプロマポリシーである、薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識、医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる技能、薬の専門家として十分なコミュニケーション能力、個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる能力、地域医療・保健に参画することができる能力を備えることを目標とする。特に、この科目では、卒業後に臨床において医療チームの一員として参画できるための知識、技能、態度を身につける。</p>							① ② ④
	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法	評価 比率	
専門力	薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応することができる。				・定期試験 ・小テスト	30% 30%	
情報収集、 分析力	医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる。				・定期試験	10%	
コミュニケーション力	薬の専門家として十分なコミュニケーション能力を修得する。				・定期試験	10%	
協働・課題解決力	個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる。				・定期試験	10%	
多様性理解力	地域医療・保健に参画することができる。				・定期試験	10%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
講義、配布資料、パワーポイント等の内容から定期試験成績 (70%)、小テスト (30%) を基に長崎国際大学の成績評価基準に準拠して厳正に判定する。小テストについては、授業内およびポートフォリオを利用してフィードバックする。							
授業の概要							
<p>病院・薬局の勤務経験がある教員が、実務経験で得られた知見や事例等を取り入れ、授業を展開する。            基本的には教科書およびプリント等の資料配布、パワーポイントを利用する。            授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：無            参考書：スタンダード薬学シリーズⅡ7 臨床薬学            指定図書：スタンダード薬学シリーズⅡ7 臨床薬学</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>卒業後に、病院薬学で修得した知識・技能を応用し、医療現場において医療チームの一員として活躍できる薬剤師になって欲しい。            配布されたプリント及び参考書等を利用して予習・復習をしっかりとるようにして下さい。講義中および講義後の質問は大いに歓迎します。            ※質問は、基本的に在室中は可能ですので、担当教員のオフィス (薬学研究棟 P302：室、P312：神田、S302：末廣) を訪ねて下さい。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標 番号*
1	薬剤師の活動分野と地域社会の人々との信頼関係	医薬品の適正使用、創薬における薬剤師の役割。薬の専門家と地域社会のかかわり。(神田)	薬剤師の活動分野や地域社会とのかかわり、求められる薬剤師像について調べておく・配布資料の確認	9, 10, 12, 895
2	治験の意義と業務	治験に関するヘルシンキ宣言。創薬における治験の役割。治験の内容(第Ⅰ～Ⅳ相)(神田)	治験について調べておく・配布資料の確認	31, 35, 38, 39
3	医薬品開発のコンセプトとバイオ医薬品・ゲノム情報	疾病統計による日本の疾病の特徴。組換え医薬品の特徴・有用性・安全性。(神田)	日本人の疾病の特徴とバイオ医薬品について調べておく・配布資料の確認	489, 731, 732
4	患者情報の収集・評価・管理(Ⅰ)	病院薬剤師の業務、病棟専任薬剤師について(末廣)	病院薬剤師の業務について調べておく・配布資料の確認	895-897, 900, 907
5	患者情報の収集・評価・管理(Ⅱ)	患者情報源の種類、患者情報の収集方法、問題志向型システム。(末廣)	患者情報の収集方法や収集すべき内容について考えておく・配布資料の確認	797-800, 945, 946, 948, 950, 953, 954, 958, 987
6	患者情報の収集・評価・管理(Ⅲ)	インタビューからの情報収集。患者の効果・副作用情報の評価と対処法。チーム医療における患者情報の共有。SOAP形式での患者記録作成演習【基礎編】(末廣)	チーム医療での患者情報共有方法について考えておく・配布資料の確認	801, 901-907, 955, 956, 1015
7	患者情報の収集・評価・管理(Ⅳ)	患者情報の取扱い(守秘義務等)。SOAP形式での患者記録作成演習【応用編】(末廣)	守秘義務について調べておく・配布資料の確認	802, 990, 996
8	医療行為にかかわるこころ構え、コミュニケーションとチームワーク	医療従事者・患者への情報提供。インフォームドコンセントの定義と必要性。コミュニケーションの方法。(末廣)	インフォームドコンセントについて調べておく・配布資料の確認	36, 37, 42, 47, 48, 52-54, 56, 986, 1026-1028
9	病院薬剤師に特徴的な業務(Ⅰ): 持参薬確認と処方提案	病院薬剤師に特徴的な業務。持参薬確認の必要性と実際。処方提案時の留意点。(神田)	持参薬確認の必要性について調べておく・配布資料の確認	897, 900, 946, 987, 991, 1009
10	病院薬剤師に特徴的な業務(Ⅱ): 各種専門薬剤師とチーム医療	病院薬剤師に特徴的な業務。各種専門薬剤師制度、専門薬剤師の役割とチーム医療の実践(室)	専門薬剤師について調べておく・配布資料の確認	52, 53, 897, 898, 905, 906, 1026, 1027
11	病院薬剤師に特徴的な業務(Ⅲ): 感染制御と抗菌薬適正使用	病院薬剤師に特徴的な業務の説明。感染制御と抗菌薬適正使用に関する薬剤師のかかわり。(室)	感染制御について調べておく・配布資料の確認	52, 53, 897, 898, 1026
12	病院薬剤師に特徴的な業務(Ⅳ): 製剤室の業務: 無菌調製、抗がん剤調製他	病院薬剤師に特徴的な業務。製剤室の業務内容、無菌調製、抗がん剤調製 他(神田)	一般的な無菌調製と抗がん剤調製の違いについて調べておく・配布資料の確認	897, 898, 906
13	病院薬剤師に特徴的な業務(Ⅴ): 薬品情報室の情報管理	病院薬剤師に特徴的な業務の説明。薬品情報室の業務内容。薬品情報の管理。(室)	薬品情報の管理の必要性について調べておく・配布資料の確認	764, 897, 898
14	医薬品の採用	採用・選択に当たったの検討項目(室)	医薬品採用基準について調べておく・配布資料の確認	794, 897, 898
15	伝票の種類と流れ リスクマネジメント	薬剤師が係わりあう病院内の伝票の役割とその流れ。薬剤師が係わりあう医療事故防止。(室)	医療事故を防止するための方法について考えておく・配布資料の確認	972, 974, 981
16	定期試験	筆記試験		

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。